

君の椅子のモデル―相原咲ちゃん原田桃ちゃん第1号

5月21日、「君の椅子2010」モデルの発表があり、2010年モデルの第1号プレゼントとして東川、剣淵両町で今年誕生したばかりの3人にトップを切って本年モデルを贈りました。



町内から第1号のプレゼントを受けたのは、自営業、相原定和さん(42)の二女、見咲ちゃんと、会社員、原田亮さん(28)の長女、桃ちゃん(ともに零歳)の2人。ママの祥代さん(38)、三奈さん(28)と一緒に発表会場となった旭川市内の道立旭川美術館を訪れ、松岡市郎町長から2010年モデルを受け取りました。

5代目となる今年のモデルは、長野県松本市で木工デザイン工房を開いて活躍している三谷龍二氏(58)のデザイン。製作は町内で家具工房・木魂(こだま)を開いている服部勇二さん(55)。道産ミズナラ材を使用し、3度の試

作を繰り返したということです。

「三谷さんとはおもしろいやり取りができました。あとはこの椅子でたくさん思い出を積んでほしい」と製作に込めた思いを披露しました。

旭川大学の「君の椅子」プロジェクトは、今年から愛別町が加わって

参加3町になりました。

ラトビアから来た友好のライラックを苗植え

5月13日、東川ラトビア交流協会(青木哲也会長)が羽衣公園でラトビアから寄贈を受けたライラックの苗木30本を苗植えしました。

昨年5月から6月にかけて、町の公式訪問団36人が姉妹都市提携後初めてラトビア・ルーイエナ町を訪問。友好の印として本町からルーイエナ町に200本のエゾヤマザクラの苗木を贈り、現地で植樹しました。

ドラフライブリー、黄金週間好天続きで盛況

5月3日から5日まで黄金週間後半の3日間、「2010みちくさドライブブリー」が行われ、町内の観光スポットめぐりを楽しむ参加者でにぎわいました。



今年で6回目。「6年間毎年来ていますよ」「去年楽しかったからまた来まして」という家族連れや、遠く横浜市から参加したという親子も。町内からの参加も多く、3日間とも好天のドライブを満喫しました。パスポートを手に、「くう1」「くう2」「みる」「ハマる」の4ジャン

ルーイエナ町は、そのお返しとして、同町内の家庭で好んで植栽されているというライラックの苗木を本町に贈ってくれました。

この日は会員約10人で公園内の一角に約40本の苗木を植えました。町では来年以降、「友好の木」街路樹として町内中心街に移植したいと考えています。



ホテルでは、3日間ともに予定を越える申し込みにうれしい悲鳴をあげる盛況ぶりでした。

ル31店舗の中から好みの場所を選んで、思いがけない小旅行の始まりです。天人峡、旭岳両温泉の日帰り入浴、町内のクラフト工房は参加者のマイカーが続き、1日20食限定のランチセットメニューを用意した天人峡温泉の